

寝屋川市美術協会会報
第14号



NEYAGAWA SHIBIKYO ART JOURNAL

会員名

平成24年度

會長・総務部長
副会長・部長
展覧会部長
研修部長
広報部長
会計監査
会顧問

集道烈華佐子右
好星比友協
田井松垣音智川
守石小尾天伊小

田内 康雄

運営 委員

南雲 ゆう子
伊郷 武治
青山 幸生

倉内 崇之
佐藤千代子

川野 信敏
松浦 澄江

秋元 正志
高須美智子

會 員

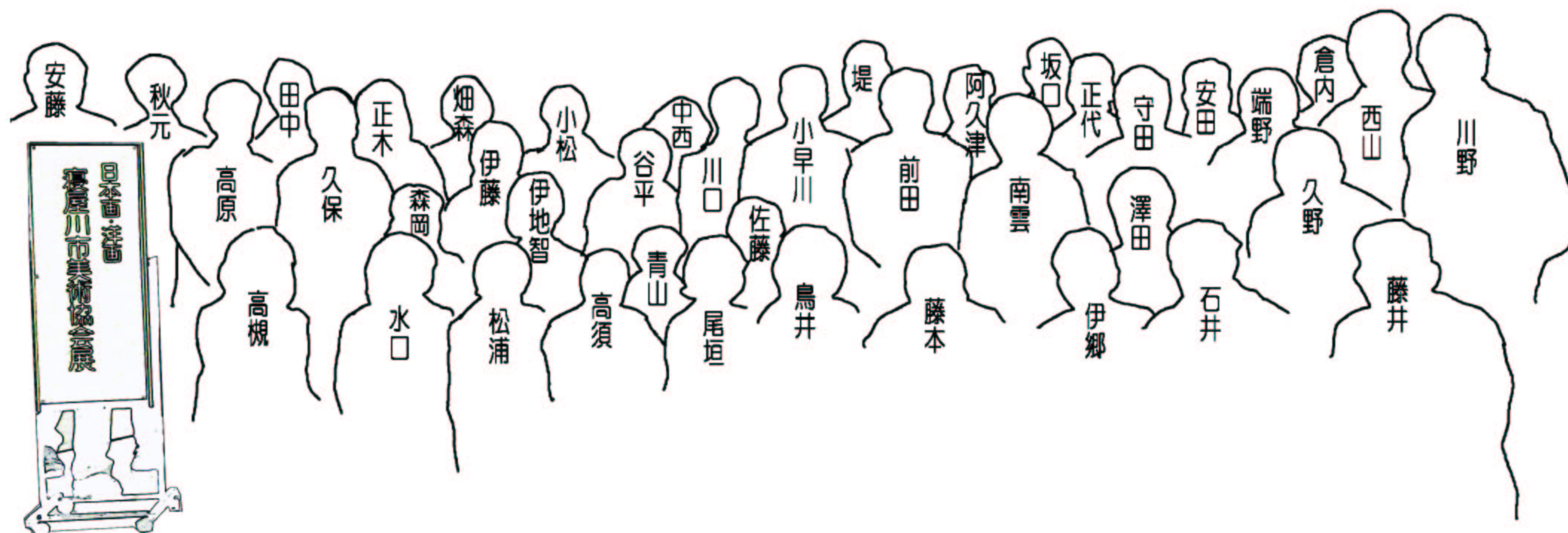
正子進雄子榮稔孝
一久仁進佐美清
津紀久進真富
久田高原
阿川澤高堤西畑藤森
※※

安藤	敏勝
川崎	稔
正代	高人
竹下	茂
鳥井	幸子
西田	他家
原田	信
正木	伸
安田	文男

代芳三子
子夫文子世
静穂吉士直昭博則満
富
藤保津平西山地口田
伊久瀬谷中西福水山
※※

川合 繁
坂口 叡治
高槻のぶ子
辻節子
中平嘉代子
端野純全
※藤井 壽秀
森 力ヨ子

※は平成23年度以降の新入会員



ご挨拶

会長 守田 集

昨年、東日本大震災により犠牲になられた方々と被災された皆様に謹んでお悔やみとお見舞い申し上げます。平成 24 年の新しい年を迎え会員各位におかれましては益々ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。平素は美術協会に対し、ご理解とご協力を賜り誠にありがたく厚く御礼申し上げます。寝屋川市美術協会は本年 2 年間の任期満了で役員改選となり、新役員が選出されました。このたび新役員の推選を受け不肖守田集が新会長に就任する事になりました。何分不慣れな事にて行き届かないことが多々ある事と思いますが皆様のご支援ご協力の程よろしくお願い致します。美術協会は市民の文化の発展と親睦をはかり、絵を描く楽しさ、絵を観賞する楽しさ、を通じて人と人との友好の場として広げていきたいと思っております。今後、微力ながら当協会のため誠心誠意尽くしたいと思っておりますのでご指導ご鞭撻の程、宜しくお願いします。

副会長 石井好道

今年度より副会長を仰せつかりました石井です。会長以下、新たな組織で市美協を益々盛り立てていきたいと思っております。会員減少の傾向に歯止めをかけV字回復するためより魅力ある会の運営が必要です。また会員の活動を外部に発信するため昨年度より「駅前ギャラリー」や、ホームページの開設をスタートしました。会報「アート」誌の質も改善を加え向上しております。今年度からは会員の研修の機会を増やし個人個人のレベルアップを図り、有力作家を多く抱え外部からも評価をもらえるような誇りある美術協会になれば幸いです。

退任のご挨拶

前会長 小早川協右

2012 年 4 月の期首を迎え、皆様方には益々ご健勝にて美術作家としてご活躍されていることを心よりお喜び申し上げます。寝屋川市美術協会も 1 月の全会員による協会展、秋の大作展、総合センターでの秀作展や公民館展、駅前ギャラリーなどの活動をとおして地域文化の向上に寄与していただいていることは、誠にありがたく厚く御礼申し上げます。私はこのたび会長を退任させていただくことになりました。思えば 1995 年から今日まで 17 年間皆様に温かいご支援をいただきながらご期待に応えられなかったことが残念ですが、これから、一会員として協会発展に尽くしてまいりたいと思っておりますので、何卒よろしくお願い致します。今日まで私に対する温かいご支援に心より重ねて厚く御礼申し上げます。

市美協展、秋季展、ロビー展、秀作展

展覧会部

寝屋川市美術協会会員の皆様方には会の運営にあたりご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。先般開催の第24回美術協会展では内容も充実してきており、毎日100名を超える入場者もありました。秋季展、ロビー展では、皆さまに、多数の作品を出展していただいたことをありがたく思います。秀作展では2～3ヶ月ごとの入れ替えにもご協力いただき、皆さまのすばらしい作品を多くの人に観ていただくことができました。これからも絵画を通して、地域文化の向上に寄与していきたいと思っております。今後とも会員の皆様のご支援とご尽力を宜しくお願い申し上げます。



日帰り写生会

研修部

研修部の企画による恒例の写生会は参加者25名。風もなく穏やかなスケッチ日和となりました。先日テレビで竹田城跡が日本のマチュピチュと紹介され、天空に浮かぶ見事な映像を見て、行ってみたいと思っていました。それが実現したのです。バスとタクシーで近くまで行き、そこから秋色に染められた坂道を登っていくと柿の木が赤い実をつけ、まるで宝石のように輝いていました。私たちは連山が霧に包まれ、眼下に川や集落が小さく点在する絶好の場所でのびのびと描くことができました。メンバーはベテランも多く展覧会を今から楽しみにしております。



駅前ギャラリー

実行委員会

平成22年の秋に続き、23年も春、秋と回を重ね、より多くの皆さんに見ていただき、着実に発展していると感じています。春の第2回展では観覧の方々の話し声が耳に入り、「こんな催しは今までなかったなー」とか携帯電話で「こんなところで展覧会をやってるで一、見においで」など、うれしい言葉をききました。このように口コミで広がっていくことも狙いのひとつです。秋の第3回展は前日の悪天候にかかわらず晴天に恵まれ風も穏やかな中で、会員協力のもとに開催でき、一般参加の方も次第に増えて一步一步ですが前進していると思います。



ホームページ担当者からのお願い

ホームページ担当 川野、倉内



会員皆さんの協力で昨年度なんとかホームページを立ち上げました。会の案内、展覧会や情報の催し物、作品の紹介などを取り上げてきましたが、会員皆さんの展覧会情報が十分とは言えませんので、各公募展入賞も含めて、ホームページに対する要望を情報担当：川野までお知らせくださいますようお願いいたします。

招待作家として中国へ

天音比佐

平成 23 年 5 月中国咸陽市での「剪紙展覧会」に横浜、三重、大阪の 3 人のきりえ作家が招待された。初日の市庁舎での歓迎会、オープニングセレモニー、3 作家の 20 数点の作品などが展示され、マスコミ報道された。日本の作家は各人独自の画風をもち、豊かな色彩と材質、巧みなナイフさばきが特徴。かたや、中国の剪紙は縁起物として生活に根付き、ハサミで切った緋色の紙の模様は繊細で大変美しいものだ。意外なことに中国は紙の種類が少ないので、私が持参した染めの和紙に興味が集まり、特に土佐の手漉き天具貼紙の透き通った美しさには感嘆の声が上がった。展覧会終了後、町の人たちが東日本大震災のことを心配してくれていたことは大変うれしかった。

念願のフランスで個展

小松 烈

一昨年の 10 月ごろフランスでの個展の話があり、応募し昨年 6 月に個展が決まりました。6 月 21 日から 28 日の会期でした。6 月 18 日にエールフランス航空でパリに到着。3 日間パリに滞在し、ルーブル美術館などパリの街を散策し、20 日にブルジュの画廊に到着。白い石造りの画廊で作品 18 点を展示しました。オープニングパーティーには 50 人程のお客様が集まってくれて日本酒、ワインなどで賑わいました。会期中は副市長をはじめ市民の皆さんも多数来場してくださいました。宿泊は元女優さんの持ち家で、8 日間朝食付きで楽しく泊めてもらいました。近くに農園があり小川をボートで葡萄畑に渡る風景は長閑で心を癒します。パーティーなども招待にあずかり、楽しいだんらんを過ごしました。

マテリアル(材質)はすでに立体に入っているか

高槻のぶ子

材質感にこだわるようになって、その先にある立体を意識するようになった。しっくいや砥の粉を使ったり、砂、粘土、銅版、トタン、寒冷紗など、フラットな表面をどうしてこう加工するのか、私自身時々わからなくなる。仕事の段取りが見えてくる怖さが自分の中で問題になる。視覚的なアプローチから触覚へ、より空間の意識へと変わっていく。立体表現のモデリングを繰り返していると、その束縛は視覚表現の自由さであることに気づく。自分の終着点がある程度承知しながら今は自分の身体にコントロールされている。これは意外だけれど自然の摂理だとも思える。壁に対する行為を続けながら、この物づくりは絵画だろうかという思いが頭をよぎる。

主な入選者と入賞者

秋元 正志
第43回日展 入選
「雪雲迫る」F100号

冬の田舎道、静まり返った時の中に雪雲の動きを出したかった。



川野 信敏
関西旺玄会展 大阪府知事賞
「春の朝」F100号

孫が遊ぶ姿を描きました。会場で自分の絵を見つけて喜ぶ姿に苦労が報われる思いでした。



石井 好道
関西旺玄会展 ホルベイン賞
「開田」F100号

木曾御岳の麓、開田高原の秋、夕日に照らされる大自然の中に開拓の営みを感じました。



尾垣 星華
関西旺玄会展 努力賞
「美山の里」P100号

一度描いてみたいと思いつつ念願叶った作品です。



藤井 壽秀
第47回新創美術展 大阪市長賞
「大阪市中央公会堂」P8号変型

公会堂を版画で表現できないかと昨年やってみた。結果は重厚さに欠けて似て非なるものになった。



倉内 崇之
第38回創彩展 大阪市教育局委員会賞
「初秋の浜辺」F50号

海水浴と初秋の組み合わせが、陰陽や明暗の一極に傾倒しない微妙な空間を生み出しました。



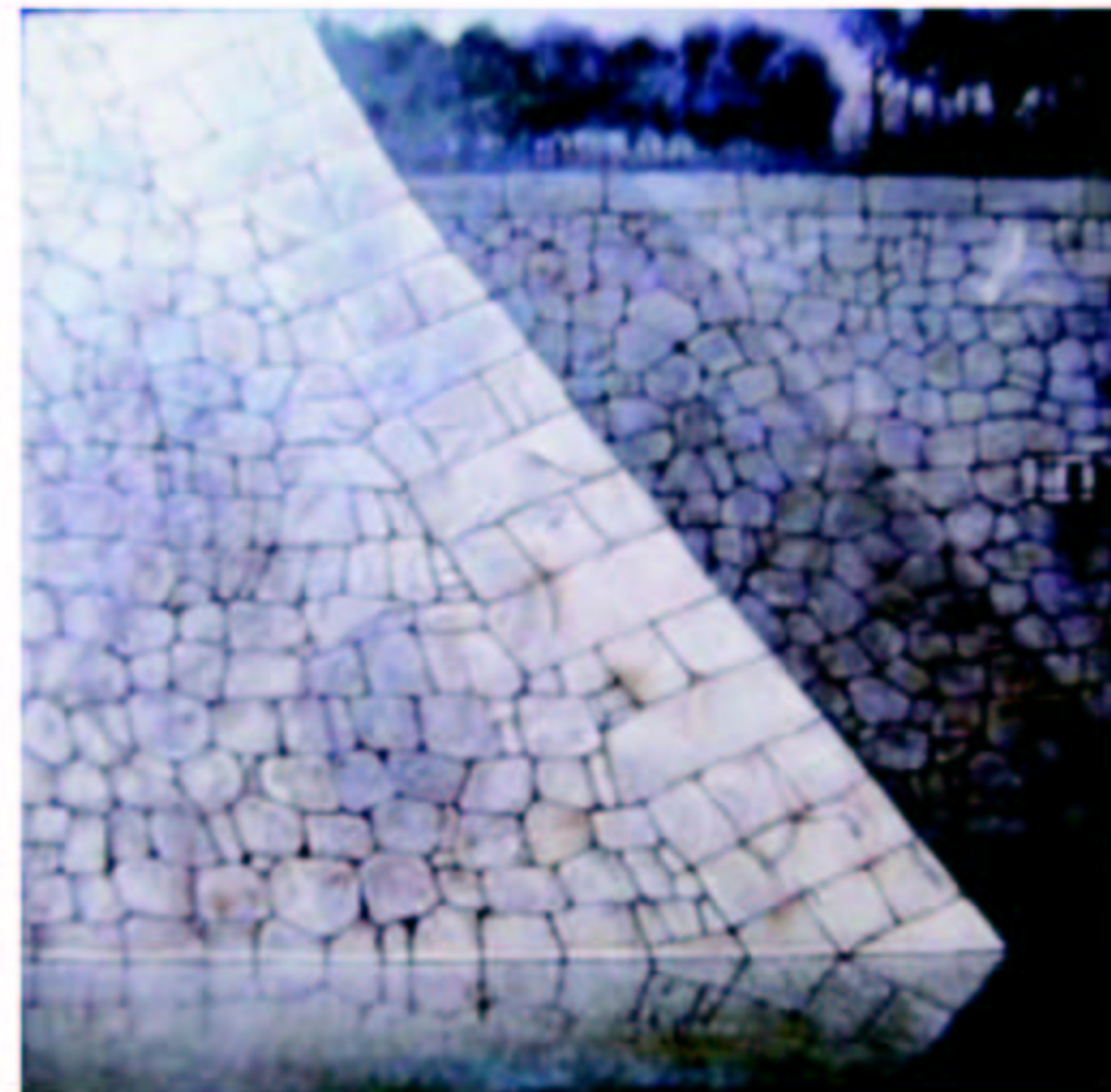
水口 則子
第26回国民文化祭京都2011 入選
「秋の嵐山・渡月橋」F30号

絵が好きで、絵を描けることに感謝しつつ、皆様に見てもらえる場ができたことが幸せです。



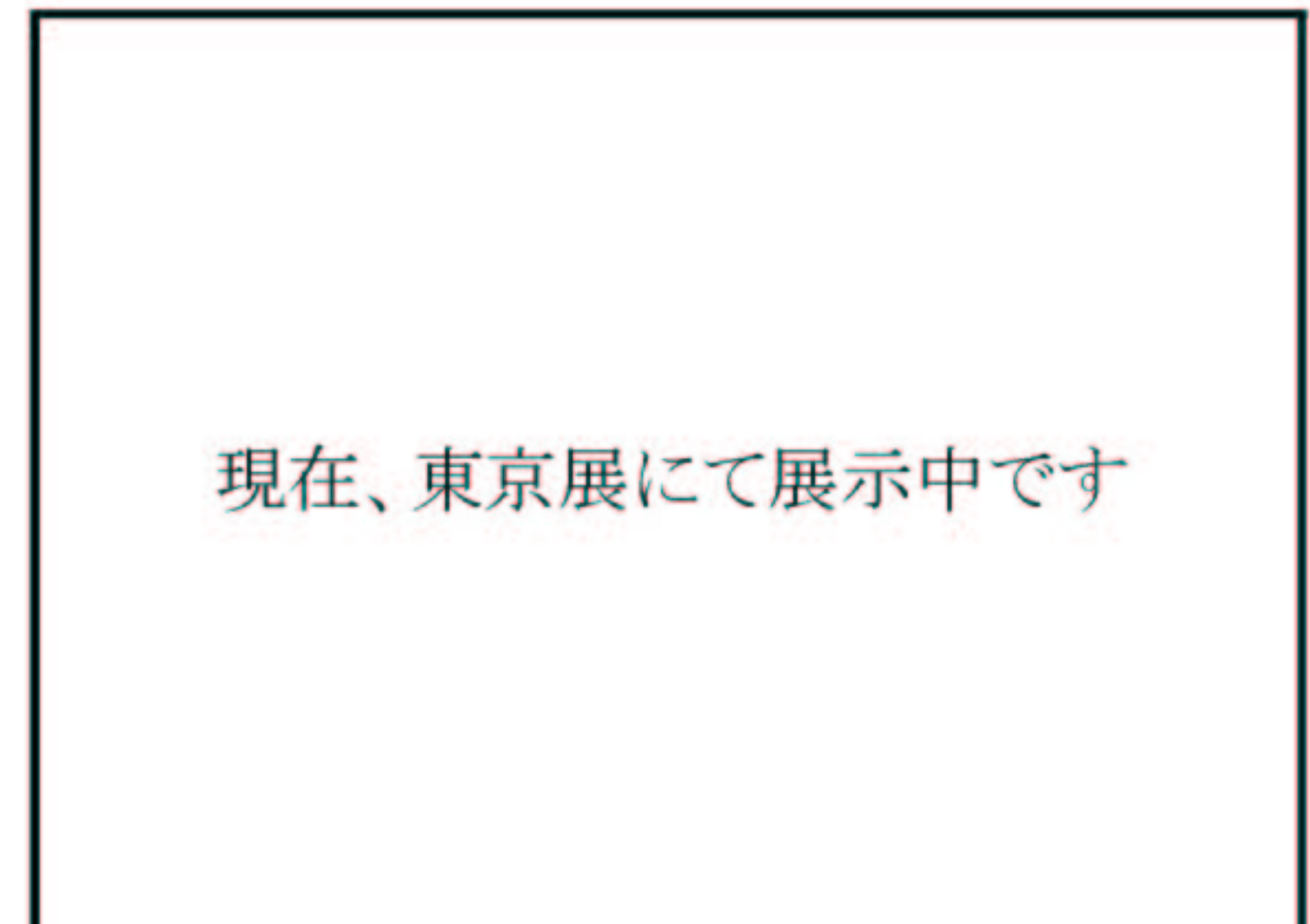
藤本 稔
第8回なにわ美術展 奨励賞
「匠の技」S40号

大阪城は近場でもありよく行くが、東側の面の石組みの美しさにひきつけられて描きました。



佐藤 千代子
24年度全日本アートサロン絵画大賞展
入選 「朝焼け桜島」20号

9月、桜島の朝日の感動を描きました。目的はダイヤモンド桜島でしたが、雲に隠れてしまいました。



編集部員: 天音比佐 秋元正志 久野洋一 倉内崇之 伊郷武治 川野信敏
編集: 寝屋川市美術協会
印刷: 石川特殊特急製本㈱
発行: 平成24年4月

